

令和元年度第2回小串警察署協議会会議録

開催日時	令和元年8月20日(火) 13:30から15:00まで	
開催場所	下関市豊浦町大字小串191-1 小串警察署 1階講堂	
出席者	委員	大石正夫、前田敏道、和田由華、松尾優子 計4人
	警察署	署長、次長兼警務課長、会計課長、地域交通課長、警備課長、 会務係員 計6人
議題	1 警察業務の推進状況 2 「ラグビーワールドカップ2019」等に向けた警備諸対策の推進 について(協議)	
<p>1 会長挨拶</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただき、心からお礼申し上げます。今回は、「ラグビーワールドカップ2019」等に向けた警備諸対策の推進ということで、この地域も何らかの影響が出ることを鑑み、我々がどのように対処すべきかということを含めて皆さんの積極的な意見を賜りたいと思う。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 署長業務説明</p> <p>(1) 警務課・会計課関係業務</p> <p>ア 警察安全相談 令和元年7月末の警察安全相談の取扱状況について説明した。</p> <p>イ 広報活動 令和元年7月末の広報活動推進状況について説明した。</p> <p>ウ 遺失物・拾得物 令和元年7月末の遺失届、拾得届の取扱状況について説明した。</p> <p>(2) 地域・交通課関係業務</p> <p>ア 110番受理状況 令和元年7月末の110番通報への対応状況について説明した</p> <p>イ トータルリスポンスタイム状況 令和元年7月末のトータルリスポンスタイムについて説明した。</p>		

ウ 交通事故発生状況

令和元年7月末の交通事故発生状況について説明した。

エ 交通指導取締り状況

令和元年7月末の交通指導取締りの推進状況について説明した。

(3) 刑事・生活安全課関係業務

ア 全刑法犯認知・検挙件数、検挙人員

令和元年7月末の状況について説明した。

イ 特別法犯検挙件数、検挙人員

令和元年7月末の状況について説明した。

4 第1回小串警察署協議会の質疑についての回答、説明

(地域交通課長)

○ 吉永地区における横断歩道等の新設要望について

平成29年9月に豊浦連合自治会長名で信号機及び横断歩道の設置要望を受理、同年10月12日付けで警察本部に要請をしているところであるが、現在は県下に約2,900基の信号機があり、その整備率は全国一の水準である。

ところが、19年と設定されている使用年限を超えて信号制御機を運用している関係から、維持管理の届かない信号機が県下に約400基あり、過剰設備の現状にある。そこで県では、予算の見直しを行い、設置基準を満たさない信号機の撤去を行っているところである。現状では、信号機の設置基準を満たさないことから、新たな設置は困難であると考えている。

横断歩道の新設についても設置基準があり、横断需要等の現状から新たな設置は困難と考えている。

○ 駅前の停止線が薄くなっているとの件について

本年3月6日に塗替えの申請をしている。しかし、予算の関係から塗替えは県下で順番に進めているところであり、半年から1年程度はかかると言われている。

○ 豊北中学校の生徒に対する交通指導について

冬場の下校時のパトロールについては、滝部駐在所員等を中心とした対応を予定している。薄暮時等の夜間における、生徒に対する反射材活用の指導については、今後、交通安全教室の開催を検討しており、その際に指導を行いたい。

○ 管内のコンビニエンスストア駐車場に関する問題について

駐車場を利用したショートカット通行、アクセルとブレーキの踏み間違い問題に対応する輪留め設置要望については、オーナー側に打診した。オーナーの意見としては前向きな意見を持っていたが、費用がかかることもあり、約束はできないとの回答を得た。コンビニエンスストア本部との協議により、ストレートパイロンを設置する方向で検討したいとの回答をオーナー側から受けた。

○ 下関市を中心として開催されるサイクリング大会に関する問題について

強風時に、数十台の自転車が国道を走行する危険性をサイクリング大会の安全部会で指摘した。これに関して担当者からは、検討したいとの回答を得た。

○ 角島問題について

角島大橋上の道路の真ん中で立ち止まり、写真を撮ることに関しては、危険な行為であることから、発見時は警察側も注意するし、一般の方には警察への通報をお願いしたい。

また、夏場の角島対策について、今年は午後10時まで警察官を角島に常駐させた。駐車場内における軽微な交通事故はあったものの、幸い大きなトラブルもなく、暴走族も来なかった。来年も継続したいと考えている。渋滞対策については、警察、道路管理者、行政担当者との会議の場において前向きに検討させていただく。

- 5 協議～「ラグビーワールドカップ2019」等に向けた警備諸対策の推進について
世界的な国際テロの発生状況、日本国内と山口県及び小串警察署管内の警備情勢・特徴、小串警察署の各種取組、訓練内容を説明した。

6 諮問事項に関する質疑応答

(次長)

今回の訓練内容は、小串警察署の建物を観光地の建物に見立て、事前情報で不審な物を持った不審者が建物内をうろついているという設定で、警察官が駆け付けた。声をかけると、不審な物を放置して逃走したが、不審者は無事捕捉した。しかしながら、不審物を建物内に放置していたことから、これが爆発物であるという想定で機動隊の爆発物処理隊が処理をするという内容であった。

今回の訓練を私も初めて見たので、先ほどの訓練内容に限らずテロ対策に向けた率直な意見や提言をお願いします。

(委員)

訓練を真近で拝見した。犯人役は、逃げよう、逃げようとしていて、相当の迫力があつた。不審物とされるリュックサックが爆発物処理車のリフトに吊られていたが、本当の爆発物ではないことが分かっているから安心して見ていたが、本物であれば大変なことだ。

(次長)

爆発物処理の機動隊員は、実際に不審物を移動させる隊員のみならず、爆発物処理車のクレーンを動かす者もヘルメットなど完全装備が必要とされる。

(委員)

爆発物処理を行う隊員は、宇宙服のような装備服を着ていたが、あの服装には何か換気扇のような暑さ対策の装置は完備されているのか。冬ならいいが、暑い夏に着るのはかなり厳しいと思う。それと東京では、警察に捕まった韓国籍の犯人が、入院中にトイレへ行った際に逃走している。ちょっとしたことでも大きな騒ぎになっている。

(次長)

逃げる方は命がけで逃げる。今日の訓練で、その様子が伺える。

(委員)

テロとは関係ないが、あおり運転があちらこちらで問題になっている。報道になら

ないものもかなりあると思う。今回の茨城県での事件は、被害者が運転席側の窓を開けていたので殴られている。窓は、少しだけ開けた方がよいと聞いている。

(次長)

完全に窓を開けてしまうと何をされるか分からない。この犯人は、あちらこちらであおり運転を慣行していたと聞いている。

(委員)

高齢者は高齢者で、ブレーキとアクセルを踏み間違え、事故が多発しているとマスコミが取り上げている。横断歩道で車が子供とぶつかる事故も起きている。それが終わったかなと思えば、今度は今回のようなあおり運転の問題が発生してしまう。マスコミが、これでもかというほど繰り返し報道をしているのを見た。法律できちんと裁けるような法改正が必要だと思う。国によってはそのような場合の対応が異なっている。ドイツの場合、一生涯免許を取り上げていると聞いた。

(委員)

前向きに法改正を検討する必要があると思う。

(次長)

なかなかすぐに法律を改正することは難しいが、飲酒運転を含めて罰則はかなり重くなってきている。時代の流れで、厳しくするところは厳しくするといった機運は必要である。

(委員)

今回の訓練を初めて目にした。もしも爆弾が爆発したら、鼓膜が破れたり、手が無くなってしまうと聞いた。このような仕事に従事する方々は、大変だと思う。使命感がなければできない仕事だと思う。今回の訓練が実際のものではないと分かっているけど、見ていて恐ろしいと感じた。皆さんのおかげで安心して暮らしていけることに、改めて感謝の気持ちでいっぱいになった。

(次長)

そのように言うただけだと、我々も大変やりがいを感じる。実際、確率からすれば本物の爆弾が不審物の中に入っていることはそうは無いかもしれないが、常にそうした危険と隣り合わせで、そうしたことがいつ起こったとしてもそれを解決せねばならないのが現実である。

(委員)

今回のような訓練を見たのは初めてだが、訓練と分かっているけどハッとする衝撃にかられた。

(次長)

あのような訓練は適宜行っており、実際の現場に生かせるよう、緊張感をもって今回実施することとなった。今回の訓練のような事態が起きないことが一番であるが、いざそうなった時のために、より実戦に近い形で今回機動隊に訓練をお願いした。

(委員)

小串から川棚、涌田へ抜けるバイパス道路ができたが、左は川棚方面、右は松谷へ向かう四差路交差点には「とまれ」と文字が書かれている。そこでは止まらない車が多い。

(次長)

その場所は、公安委員会の指定場所一時停止の規制はかかっていない。指導的な「とまれ」として認識している。

(委員)

それでは「徐行」程度でよいのか。

(署長)

その場所には、横断歩道は有るのか。

(委員)

片方の道路には横断歩道が有る。正式な「とまれ」でないならば、お互いが気を付けるほかはない。

(次長)

その道路ができて間が無い頃は、「信号機を設置してほしい」、「横断歩道を設置してほしい」という要望はあったと記憶している。

(委員)

交差点から見える位置にパトカーを停めてもらえば、みんなが注意するのでいいと思う。

それと、豊洋中学校を出て、下り坂になった道路を進むとカーブミラーが一基ある。そのミラーだけが曇っていて見えにくく、室津の方面から来るとなおさらである。どこが管理しているかは、分からない。

(地域交通課長)

場所を確認して対処する。

(委員)

現在、夏休みだが、9月から新学期を迎えるので、防犯活動を主眼としたパトロールをしてもらいたい。私たちも独自で実施する。

(次長)

検討したい。

(委員)

涌田地区では、定期的にパトカーでパトロールしてもらっている。大変ありがたいので、是非継続してほしい。

(委員)

遠くから見てもよく確認できる。

(次長)

パトカーによるパトロールは、効果的だと思う。

(委員)

角島の渋滞対策について、今年は例年になく、渋滞がひどかった。3日間くらい連続で夜8時過ぎまで渋滞が続いた。島の中まで渋滞が続き、島の人の生活が脅かされて大変困っている。何とかならないか。

(地域交通課長)

角島の渋滞問題について、県土木の職員もこの渋滞問題を重々把握しており、現在国道につながる市道を整備中である。この道路が完成すれば、車の流れが変わるので

はないか。今後の見通しは、やってみないと分からない。ひとまず、島戸に新しい道路ができるが、渋滞の抜本的な解決に疑問が残ることは事実だ。現在のところ、そのような方向で対策が講じられている。

(委員)

少し前のことになるが、島の道路に「地元優先」とまでは書かれていないが、その類の内容の看板が道路脇に立てられていた。誰が立てたかは判然としないが、みんな「これはいいな」と言っていたが、いつのまにか無くなっていた。そのためか分からないが、今は島中の道路はどこも渋滞がある。橋から本州につながる交差点に、誰か一人、交通整理を行う人がいればもっと解消されるのではないか。

(次長)

橋の前の横断歩道を渡る歩行者と、島を行き来する車の流れがうまくいかず、結果として渋滞が発生している。

(地域交通課長)

市の担当者との協議の中で、ガードマンを雇うという案や要望もある。

(委員)

今回のようなテロ訓練には、子供も参加できないのか。

(警備課長)

一般的なものであれば、地域と時間を選んで可能なものもある。テロに関するものは、今後の皆様の意見・要望を伺いながら検討し、また機会を作って開催したい。

(次長)

他に意見等が無ければ、今回の協議会は終了させていただく。

次回の開催予定については、会長・各委員との日程調整を行い、追って通知する。

7 次回開催予定

令和元年度第3回小串警察署協議会の開催予定は、10月か11月頃とする。

8 配付資料

- 令和元年度第2回協議会資料～（警察署作成）